

「ハッピーからヘルスへ」 — 行動変容のきっかけを デザインする —



令和7年度 第2回 佐賀県肝炎医療コーディネーター スキルアップ研修会

日時：2026年2月20日（金）

18:30～20:00

会場：アバンセ 第1研修室

佐賀市天神三丁目2-11(どん3の森内)

対象者：佐賀県肝炎医療コーディネーター

募集人数：約50名 参加費：無料

申込期間：2月6日（金）まで

申込方法：

佐賀大学肝疾患センターHP
もしくは二次元コードより→



講師



沼田 努
Tsutomu Numata

Street Medical
Labo

本研修では、肝炎医療コーディネーターの皆さまを対象に、医療とデザインを掛け合わせた「行動変容のデザイン」を学びます。

講師は、医療×デザインの教育・実践プログラム Street Medical Labo (SML) 代表・沼田努。SMLは、再生医療の世界的研究者であり大阪大学名誉教授の武部貴則学長のもと、「病をみずして、人を見る」という理念を掲げ、人間中心のデザイン思考を医療に導入する取り組みを続けています。

テーマは、SMLの思想である「ハッピーからヘルスへ」。
これは、人の不安や義務感ではなく、ポジティブな感情（Happy）を起点に健康行動（Health）を促すという考え方です。
講義に加え、グループワークを通じて、人々が行動したくなる“きっかけ”を実際に考える行動変容のプロセスを体感します。
まずは身近な人の行動を変える小さな一歩から、地域に広がる変化を生み出していきましょう。